

■電磁波って何?

電磁波とは、空間を走る電磁気の波です。「電波」という言葉は一般的に使われますが、電場が動くとそこに磁場が生まれ、磁場が動くと電場が生まれます。つまり「電波」とは正しくは電磁波なのです。携帯電話や送電線、すべての電気製品から電磁波は出ます。もし電磁波が健康になんらかの影響があるとしたら大問題です。実際、「電磁波による健康影響を示唆する」研究結果が続々と出ているのです。

■WHOも「影響の可能性あり」と発表

国連機関のWHO(世界保健機関)は1996年から国際電磁界プロジェクトを設立し、電磁波の健康影響の有無について研究・検討してきました。その結果、WHOの外部組織IARC(国際がん研究機関)は2001年に低周波電磁波(送電線や家電から出る電磁波)を「2B」(発がん可能性あり)と評価しました。

2011年には高周波電磁波(携帯電話や無線LANからの電磁波)についても「2B」と評価しました。また、電磁波が100%クロと証明されたわけではありませんが、少なくとも電磁波が健康にとって安全(シロ)ではないということです。

■電磁波からの健康影響を防ぐには

- 電磁波は、一般的には発生源から離れるほど弱くなります(ただし、反射などにより場所によって強まる場合もあります)。稼働中の電子レンジなどからは距離をとりましょう。
- ACアダプタなど、使用中でなくても強い電磁波が出るものもあります。コンセントを抜きましょう。
- 携帯電話は使用時間を減らし、イヤホンマイクを使いましょう。子どもには使わせないのが無難です。
- 電磁波による健康影響が疑われる場合は、きちんとした測定により原因を特定し、対策をとりましょう(当会でも測定を行います)。

電磁波研 って、こんな ことしてる 団体です

母さん、
心配だ!



電磁波問題市民研究会

■活動内容

- 月1回、東京で定例会を開いています
毎月第3水曜18時半～。会場費など500円程度
会場はウェブサイトでご確認ください
- 全国へ学習会講師を派遣しています
- メール、お手紙、お電話でご相談に応じます
- 経験豊富なスタッフが高性能な機器で電磁波を測定いたします(有料)
- ウェブサイトから情報を発信しています
- その他、講演会の開催、書籍の出版など

■これまでの実績

- 住民に協力して全国で190以上の携帯電話基地局設置計画中止、及び既設基地局の撤去を実現
- 関東地方の鉄道駅構内への発電所建設に反対した住民を支援して中止させました

■ご入会ください

- 市民の力を集めて、電磁波による健康影響を予防し、電磁波に悩む方々が支援される社会を目指しましょう
- 年会費は2千円(振込先は下に記載)
- 会員には、当会のニューズレター『電磁波研会報』を年6回お送りいたします

電磁波問題市民研究会

(設立1996年10月)

〒273-0042

千葉県船橋市前貝塚町1008-22(大久保自宅)

電話 047-406-6608

ファクス 047-406-6609

ウェブ <http://dennjiha.org/>

メール meeeru@dennjiha.org

郵便振替 00140-6-149564

電磁波問題市民研究会

代表 野村修身

事務局長 大久保貞利